

## 令和元年度 第3回普及啓発部会が開催されました。

2020年1月24日（金）上越市福祉交流プラザ第1会議室にて、今年度最後、そして3年間を締めくくるとともに、来年度以降の取組について話し合いを行いました。

### 《今年度の活動の振り返り》

- ① 地域包括支援センター職員研修で、シナリオの紹介と使い方のレクチャー（令和元年7月26日）
- ② 部会委員が地域に出向き、シナリオを使用した普及啓発講座を実施（上越2地区、妙高1地区）
- ③ 福祉・介護・健康フェア2019in上越で啓発講座を実施（令和元年10月26日）



☆今年度の活動の様子



### 《アンケート結果》

講座参加者206人からアンケートに回答いただき、活動を評価しました。

部会委員の主な意見は次のとおりです。

○医療や介護サービスの認知度については、人数でなく、割合で評価し、今後認知度を高めていく必要があるところを明確にする。

○参加者の世代は70代が46%と一番多く、60代以上が9割を占めている。地域包括支援センターも9割の人が知っている状況であり、今後包括の周知が必要な世代へのアプローチが必要である。

○どんなきっかけで参加したかを聞き取ると、参加者を増やしていくための手段を検討することができる。

### 《講座を開催しての感想・課題》

#### ◆感想

- ・少ない人数でもアットホームな雰囲気で開催することができた。
- ・後半に参加者と語り合うところが大切。声を吸い上げていくことで、シナリオの精度が高まる。

#### ◆課題

- ・事前に集まる人数や雰囲気が分かった方が、参加者が話しやすいと思われる。
- ・地域によって、参加者の理解度が異なった。このシナリオの内容は知っているという反応があったことから、シナリオのバリエーションが必要ではないか。

### 《令和2年度以降の取組みについて》

来年度から部会体制が再編されますが、3年間の取組から引き継いでいきたい点として、

- スライドを対象者の世代や理解度（認知度）に合わせ、いくつかのバリエーションを作る。
- 3年間の目的であった「包括を知ってもらうこと」「まわりの人と日頃から話しておくこと」については、まだ十分啓発できている状況ではない。受け止め方はその時々で違うため、まんべんなく行き、語りつくしたとなるまで、包括とも連携しながら、普及啓発する必要がある。

★3年間、悩みながらも部会委員が話し合いを重ね、協力し合い取組を行ってきました。2月15日に行われる協議会では、これまでの取組を報告し、来年度へバトンタッチしていきたいと思えます。ありがとうございました！